

建築士会が行う
監理技術者講習の
特色



◆建築工事全体について学習できる

→これまで不明瞭であった建築工事全体の流れについて学習できるので設計業務の参考になる。

◆建築工事に係るトラブル事例のほか、時事問題や最新技術・材料について学習できる

→受講者は、専用ページから受講後5年間いつでも最新のテキストデータを入手できるため、常に最新の情報に対応できる。

◆工事入札や入札資格審査等に役立つ建築士会CPD単位が6単位+WEB問題回答で年間18単位が取得できる!!

→受講者かつ建築士会 CPD 会員の方は、連合会誌「建築士」の CPD 連載講座と同様に専用のWEBページから設
間に正答することで CPD 単位が取得できる。
(講習単位6単位、さらにマイページに掲載のWEB問題回答で2ヵ月に1度3単位×6回=18単位が取得できます)
※建築士会 CPD を加算対象としている機関については日本建築士会連合会 HP をご確認ください。

以上の利点から監理技術者講習を、設計者をはじめとした監理技術者以外の方が学習
目的で受講されても十二分に役立つ講習としておすすめ致します。

◆建築に特化された内容になっている

⇒建築施工系技術者育成に主眼をおいた構成。(従来は監理技術者全般(土木も含む)に対しての内容)
⇒建築施工系に従事する監理技術者に向け、より建築施工実務に役立つ内容。
⇒現場技術者にとって大切な1日が建築技術育成に役立つ有意義な1日となる内容。
(従来は監理技術者講習修了履歴ラベル交付目的の為だけに受講している感がある)

◆建築士会のテキスト

- ①現役のスーパーゼネコン在籍者等によって執筆されている。
⇒机上の理論でなく建築技術に対して最新の情報が網羅されている。
- ②具体的トラブル事例が各単元に分けて解説された内容になっている。
⇒監理技術者に関わるトラブル事例、品質事故トラブル事例、労働災害、第三者災害トラブル事例、環境事故トラブル事例
- ③品質管理では「要求事項の把握」「工事材料の規格」「品質に関わる各種検査」「工事記録の管理と保存」「住宅建設における品質確保」など各単元に分けて品質に関連する最新の情報を含んだ解説となっている。
⇒タイル工事・検査の項目では超高压水洗の密度や深さについて見本施工での合意。
・平成25年公共建築工事標準仕様書に追加された界面破壊率の規定等を記載。
- ④最新技術と材料の動向では「施工合理化・品質向上技術」「防災技術」「環境技術」など各単元に分けて最新技術の内容について解説が行われている。
⇒改正耐震改修促進法、長周期地震動対策、事業継続計画(BCP)、天井材・外装材の耐震、避難安全検証と耐火検証などについての解説。
⇒現場技術者に求められる技術営業にも役立つ最新の技術情報。
- ⑤受講後5年間いつでもテキストの最新版を受講者専用HPからダウンロードで入手可能。
⇒必要箇所のテキストデータをタブレットなどにダウンロードして活用が可能。

【お問い合わせ・お申込み先】公益社団法人日本建築士会連合会「監理技術者講習本部」
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 TEL:03-3456-2061 メール:kanri@kenchikushikai.or.jp

【運営】公益社団法人 広島県建築士会
広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL:082-244-6830 FAX:082-244-3840

